

居合道 だより

第162号





恭賀新年

はじめに

新年明けましておめでとうございます。

令和になって初めての正月だ。実は小生、今年の年男なのである。この歳になると、だからといって何も特別な感慨はない。しかしやっぱり正月は気分も新たになってくる。ただ、このまま無聊な日々を過ごしていったいいものだろうかと思うことも多くはなっている。

昨年12月、「ペシャワール会」の中村哲医師がアフガニスタン現地で武装集団に銃撃され亡くなられた。小生にとっては本当に数少ない羨望と尊敬の対象の人物であった。

アフガニスタンの人々を救うのは武器でも医療でもなく命の水だと悟り、現地の砂漠で井戸を掘ることから始め、大規模な灌漑用水路の築造を目指す。最難関のクナール川からの取水口工事では何度も大洪水で築造中の堰を流されて難航するが、帰国時に偶然二百数十年前に人力で造られた朝倉の山田堰のことを知り、その技法を応用して見事に完成させ、広大な死の大地を緑の大地へと変貌させた。平和のあり方を身をもって教えてくれた。

どんな時にも本質を見る中村さんの志は未来へと受け継がれていくだろう。

このちっぽけな存在の小生にも何か出来ることがあるだろうか。

マルワリード（真珠の水）と呼ばれるこの25キロメートルにも及ぶ用水路を完成させるには数え切れないほどの失敗をして、その都度現地の人々と知恵を出し合い協力し合って乗り越えてきた。

山田堰は川を直角に堰き切るのではなく、斜めに堰を造って水の力を逃しながら必要な水量だけを取り込む工法である。大きな機材もなくほぼ人力で激流の大河に石を投げ入れていく。投げ入れても投げ入れても流されていく。それでもいつかは確実に川底に石の堤防が築かれていく。これこそまさに修行そのものだ。この工法を取り入れるまでは何度も失敗をしてきた。失敗したときどうしたのか。その失敗を取り返す更なる力だけではなく、失敗をどう捉えるのかも重要だった。失敗の原因を究明して次に活かす。失敗を認めてこそ見えてくるものがある。

大事なことは、何がなんでも成し遂げようとする確固たる信念以外は何にもものもないということだろう。

新年にあたり、剣友の皆様にとって素晴らしい一年間になりますよう心からお祈りいたします。

一月・二月の予定

1月 13日（祝） 居合道初稽古会 居合道部 武道館

【初稽古会】

日時：令和2年1月13日（月）祝日

受付：午前9時30分

開始：午前10時00分

場所：福岡武道館 [福岡県福岡市中央区大濠 1-1-1](#)

- ・全体稽古
 - ・太刀打之位演武（無双直伝英信流・夢想神伝重信流）
 - ・初抜き段別演武会（少年の部～八段）
 - ・初稽古会終了後理事会を行います。
 - ・また稽古会終了後、居合道初心者体験教室に関して団体代表者様と打ち合わせをいたしたくお忙しいとは存じますが各団体代表者様ご出席くださいますようお願い申し上げます。
- *理事の先生方で欠席されます方は「事務局：馬場」まで連絡くださいますようお願い致します



新年のご挨拶

福岡県剣道連盟居合道部

会長 迫野康雄

居合道部の皆様 新年あけましておめでとうございます。
昨年にも異常気象による台風、洪水等が全国各地で大きな被害をもたらし、甚大な災害になりました。

被災された皆様方には心よりお見舞い申し上げます。

去年 5 月に年号が令和に改元されてはじめての新年を迎えます。

居合道部の皆さんは令和の新年をいかがお過ごしでしょうか。

昨年は居合道部の行事に参加ご協力いただきありがとうございました。

新年にあたり福岡県居合道部では、どうしたら多くの会員の皆様が楽しく参加できるかをいろいろ知恵を絞って行事や 企画を考えております。どうか 1 人でも多くの会員の皆様方、お誘い合わせの上、参加をお願いいたします。

また、居合道部の発展にお知恵、お力添えをよろしくお願いいたします。

皆さんは居合道部修行において、自分はいつになったらできるののだろうか？いつまでやっていたらいいのだろうか？このままでいいのだろうか？といつしか自分のやっていることに対して自信がなくなった、もう辞めたい等と悩んだことがありますか？

この道をただ 1 つに心に決めたのですから「前に進め」と自分に言い聞かせるのです。どんなにきつくても、諦めずに 1 つの道をひたすら歩けばいつか必ず目標に辿り着く。そう思って一心に稽古して、どっぷり居合道修行につかってみることが大切です。そうすると苦渋の日々に重ねた苦しい経験が自分の中で 1 つとなり、一筋の光明として差し込んでくるものです。明けぬ夜はないと申しますが、必ず新しい朝は誰にもやってくるものです。

「継続は力なり」

今年も掲げた大きな目標を達成する気力でがんばりましょう。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

年々変わりゆく日本の風景の一つに「お正月」というものがあります。

四十年～五十年ほど前はもちろんコンビニなどもなく、スーパーは大体3日からで、どこに行っても正月料金。コーヒーが250円だった時代に500円から800円観光地などだと1000円なんて店もありました。何を買っても飲んでも食べても正月料金でしたので、あまり出歩くこともなく家でテレビを見ながら、漫才、歌、～～の上空は！、露天風呂、隠し芸などなど盛り沢山でございました。

大体3時間ほどすると飽きてくるので、家族で何かが始まります。花札にランプ、人生ゲームなどクリスマスに買ってあった取っておきのボードゲームに酔いしれる至福の休日でした。

深夜まで遊んでいい日でもありました。(うちだけかな?)

最近では買い溜めしなくても、1日からスーパーは空いてるし、コンビニもあるし、薬局なども休んでも元旦だけ！しかも通常料金！しかし年末になると皆食糧やら買い占めるように高いにもかかわらず売れる。

あんまりタコも飛んでないし、ベーゴマやコマ回し、羽子板なんかもやってない、書き初めもしなくなった。(去年は九国のイベントで久しぶりに書き初めして商品いただいたのですが下手やなあとゲンナリしました。

去年書いたのは「一^{いちをもつてこれをつらぬく}以貫之」というのを書きました。

今年はきっと私も親戚の子ども達と、タコの代わりにドローンでも飛ばしていると思います。

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第162号 令和2年1月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社 FEW